

私立大学図書館協会
2001年度第1回東西合同役員会議事要録

日 時 2001年8月6日(月) 午後1時30分～午後5時00分
場 所 明治大学駿河台校舎 リバティタワー 23階 第8会議室
出席者 出席者名簿(別紙)参照

議事に先立ち、会長校中京大学図書館長 長谷川 端が挨拶をおこない、次に出席者全員が自己紹介をした。

なお、議事の進行は、会長校中京大学図書館長 長谷川 端が担当した。

(1) 報告事項(2001年4月～2001年7月)

① 協会会務報告

会長校中京大学(加藤)より、配布資料(p7-12)に基づき、以下5件について報告した。

ア. 協会加盟校

イ. 会議等

ウ. 2001年度私立大学図書館協会及び協会関連団体役員、委員会委員等

エ. 協会ホームページのアドレス変更に伴う「私立大学図書館協会ホームページ運営要項」の一部改正について

オ. 「私立大学図書館協会会報」第116号の刊行について

なお、次のことを補足した。

a. 資料(p10)の協会賞委員会・研究助成委員会の明治大学 浮塚氏は早稲田大学中西氏の人事異動に伴う欠員補充である。

b. 会報116号の刊行にあたっては、津田塾大学にご努力いただき、2001年7月末に加盟図書館に発送された。

② 東地区部会会務報告

部会長校文教大学(戸田氏)より、配布資料(p13-18)に基づき、東地区部会の活動報告があり、次のことが補足された。

a. 資料(p14-15)2001年4月27日に開催された東地区部会役員会において、部会謝礼についての申し合わせを決定したが、宿泊費・交通費については今後検討していく。

③ 西地区部会会務報告

部会長校岡山理科大学(安井氏)より、配布資料(p19-27)に基づき、西地区部会の活動報告があった。

④ 委員会等報告

ア. 協会賞審査委員会・研究助成委員会報告

委員長（古川氏）より、配布資料（p 29）に基づき、2001年度研究助成の代表者の変更届けが提出されたことが報告された。

また、協会賞・研究助成の申請を積極的におこなってほしいとの要望が出された。

イ. 国際図書館協力委員会報告

委員長（加藤氏）より、配布資料（p 30-33）に基づき、委員会活動について報告があり、次のことが補足および要望として出された。

- a. 2001年度搬送事業については、文教大学越谷図書館及び武蔵大学から申請書が提出されている。搬送費が合計50万円以内であれば、申請を認めたい。
- b. 海外集合研修については、今年度実施する方向で進めたい。（別途協議）

ウ. 協会ホームページ委員会報告

委員長（三井氏）より、配布資料（p 34-35）に基づき、委員会活動についての報告があり、次のことが補足された。

- a. 協会ホームページURLは、2001年10月までは前URLでもアクセス可能であるが、それ以降は現行URLのみが有効となる。

エ. エルゼビア・サイエンス社問題に関する臨時委員会報告

委員長（北風氏）より、配布資料（p 36-38）に基づき、委員会活動についての報告があり、次のことが補足された。

- a. 2001年8月1日に公正取引委員会の担当者と会談した際、担当者は審査請求した独禁法24条以外の点についても調査するとの意向を示した。
- b. また上記の日に文部科学省の大学図書館担当の専門官とも懇談したが、同専門官から国立大学側との非公式会談を設定する提案を受けたので、その調整を依頼した。

⑤ 協会関連事項報告

ア. 国公立大学図書館協力委員会報告

会長校中京大学（加藤）より、配布資料（p 41-89）に基づき、2001年7月6日開催の第2回国公立図書館協力委員会常任幹事会および第50回国公立図書館協力委員会について報告し、次のことを補足した。

- a. 私立大学図書館協会においても大学図書館協力ニュースの販売を加盟図書館に促す努力をする。
- b. 資料（p 47）の「文献複写に関する実務要項A（案）」について、私立大学図

書館協会も国公立大学に足並みを揃えて啓蒙運動を行う。

- c. 資料（p 74）著作権法尊重態度の周知及び広報活動におけるポスターについては、各図書館 2 枚程度が配布される予定である。追加希望の大学は各校で有料購入をお願いしたい。
- d. 国公立図書館協力委員会より、委員館の任期について、運営要綱に従ってほしいとの要望が出され、今後、常任幹事会で検討、東西合同役員会で提案することにした。

イ. 日本図書館協会大学図書館部会報告

会長校中京大学（加藤）より、配布資料（p 90-103）に基づき、部会委員会・部会総会について、および全国図書館大会の予定について報告した。

⑥ その他

会長校中京大学（加藤）より、配布資料（p 104-110、p 127）に基づき、以下 5 件について報告した。

- ア. 国立情報学研究所目録システム講習会・地域講習会（図書コース）の共同開催について
- イ. 平成 13 年度大学図書館職員長期研修の受講者について
- ウ. 第 3 回図書館総合展について
- エ. 国立国会図書館関西館(仮称)への私立大学発行の紀要の寄贈について
- オ. 日本複写権センターとの対応について

なお、次のことを補足した。

- a. 第 3 回図書館総合展については、昨年同様、私立大学図書館協会セミナーを主催することになり、現在講師について人選中である。
- b. 国立国会図書館関西館(仮称)への私立大学発行の紀要の寄贈については、国立国会図書館からの依頼により、2001 年度私立大学図書館協会総会において、総会議事の懇談事項として取り上げる。また、総会欠席校については、後日総会資料とともに当番校の明治大学より資料が配布される。

(2) 協議事項

① 《第 1 号議案》2001～2002 年度役員校選出に関する件

会長校中京大学（加藤）より、配布資料（p 112）に基づき、2001-2002 年度役員校を提案し、原案通り承認された。

② 《第 2 号議案》2001 年度事業計画（案）について

会長校中京大学（加藤）より、配布資料（p 113）に基づき、2001 年度事業計画を提案し、原案通り承認された。

③ 《第3号議案》2000年度一般会計および特別会計決算報告書について

前会長校明治大学（大野氏）より、配布資料（p 114-116）に基づき、2000年度一般会計および特別会計決算報告が行われ、次のことが補足された。

- a. 一般会計収入の部・雑収入の差異 386,135(円)は国際図書館協力シンポジウムの参加者が予定より少なかったために生じた。
- b. 一般会計支出の部・運営費の差異△348,455(円)は主に通信費によるもので、外国雑誌の価格問題を考えるシンポジウムの案内、2000年度3回の会報、名簿等の発送費が生じたためによる。
- c. 一般会計支出の部・事業費 永年勤続表彰の差異 244,197（円）はホルダーを前年度に購入したため生じた。
- d. 一般会計支出の部・事業費 会報刊行費の差異 3,264,800（円）は担当の津田塾大学の努力によるものである。
- e. 特別会計収支計算書・国際図書館協力基金特別会計は2000年度から発生したものであり、よって前年度繰越金はない。

その後、前監事校京都産業大学（位ノ花氏）より、会計監査報告があり、この議事は原案通り承認された。

④ 《第4号議案》2001年度一般会計および特別会計予算（案）について

会長校中京大学（加藤氏）より、配布資料（p 117-119）に基づき、2001年度一般会計および特別会計予算（案）を提出し、次のことを補足した。

- a. 一般会計収入の部・雑収入の差異△600,000（円）は、国際図書館シンポジウム参加費を特別会計の収入としたため生じた。
- b. 一般会計支出の部・事業費 研究大会講師について、謝礼は5万円となっているが、第62回私立大学図書館協会研究大会ではシンポジウムを行うため、予算内で謝礼を出すとパネリストの謝礼が一人1万円となってしまう。予備費から補助し、常識的な金額一人3万円としたい。

また、特別会計（国際図書館協力基金特別会計）については、国際図書館協力委員長（加藤氏）より、次の要望が出された。

- c. 事業活動費の海外集合研修補助金は250,000（円）となっているが、予定通り実施するためには予備費から補助を出すことを了解してほしい。また、参加者は、一人5万円の負担とするため、事業収入は500,000（円）から750,000（円）に増加する見込みである。

私立大学図書館協会の会計は補正予算を組むのではなく、決算報告で修正する方式を採用していることから、第62回私立大学図書館協会総会には、このままの予で提出し、決算で調整することが承認された。

なお、前監事校京都産業大学（位ノ花氏）より、大きな事業については早期に正確な予算を組み込むよう意見があった。

- ⑤ 《第 5 号議案》「私立大学図書館協会国際図書館協力基金規程」の一部改正について
会長校中京大学（加藤）より、配布資料（p 120-121）に基づき、国際図書館協力基金の一部改正を提案し、次のことを補足した。
- a. 規程は改正が承認された日が改定日となるため、2001 年 8 月 6 日一部改正とした。
 - b. 附則 2 の記載方法については、法律の専門家のアドバイスを受けた。

協議の結果、この議事は原案通り承認された。

- ⑥ 《第 6 号議案》第 62 回（2001 年度）総会・研究大会について
会長校中京大学（加藤）より、配布資料（p 122-123）に基づき、第 62 回総会研究大会について提案し、原案通り承認された。

- ⑦ 《第 7 号議案》協会ホームページにおける英文表記について
会長校中京大学（加藤）より、配布資料（p 124-126）に基づき、協会ホームページにおける英文表記について提案し、次のことを補足した。
- a. ホームページの英語バージョンは、海外の大学が国際図書館協力委員会の搬送事業へアクセスできるようにするために必要である。
 - b. 提案された英文表記はネイティブスピーカー（母国語話者）のチェックを受けたものである。

協議の結果、この議事は原案通り承認された。

⑧その他

- ア. 国際図書館協力委員会の海外集合研修について
委員長（加藤氏）より、研修希望者が募集人員（5 名）を上回った場合、人選は委員会に一任してほしいとの要望が出され、承認された。
但し、この事業の進め方に関して、委員長（加藤氏）と会長校中京大学で別途話し合いを持つことになった。

（3）懇談事項

- ① 第 62 回（2001 年度）総会・研究大会の開催について
当番校明治大学図書館（大野 友和氏）より、今年度総会・研究大会の概要や参加申込状況、展示会および役員校への注意事項についての説明があった。

以 上